

夏本番前に砂浜をきれいに ビーチクリーンキャラバン

7月7日、象潟海水浴場で毎年恒例のビーチクリーンキャラバンが開催されました。海開きを目前に控え、秋田県Honda会の従業員のほか地域住民やより支援学校の生徒約280人がボランティアとして参加。本田技研工業㈱開発のビーチクリーナーも登場し、皆で協力しながらゴミを拾い、今年もクリーンな砂浜の「快水浴場」が誕生しました。



▲ばくもゴミ拾いがんばるぞ！

留学生との交流で語学力向上へ サンクパール日本語学院の学生による英語の授業

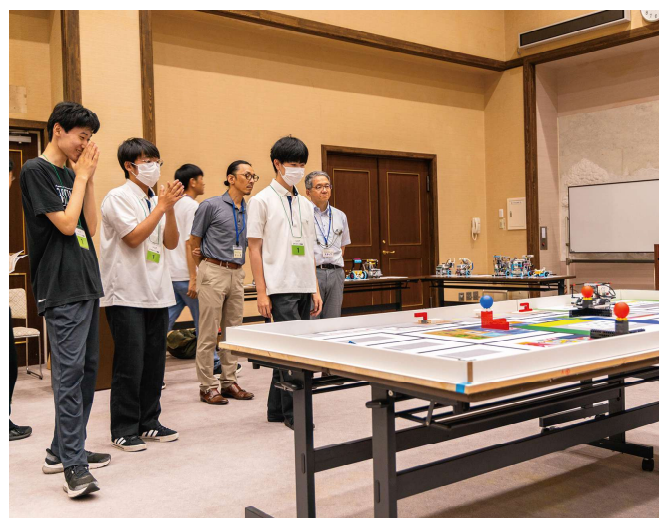
7月3日、6日、16日の3日間、象潟上郷地区にあるサンクパール日本語学院の学生たちを招いた英語の授業が象潟中学校で行われました。留学生との交流をととして中学生の英会話、英語の学力の向上および国際感覚の醸成が期待される試みとなっています。来年度以降は市内全中学校にて授業が実施される予定です。



▲留学生とグループワークで交流する様子

チームワークと課題解決能力を養う WRO Japan2026公認秋田中央予選会

7月12日、スマイルでWRO Japan 2026 公認秋田中央予選会が行われました。WROは子供達自らロボットを組み立て、それを動かすプログラミングにより、指定された課題のクリアを目指すコンテスト。市内外の小・中・高校生が参加し、高校生の部では、仁賀保高校が優勝。中学生の部では、象潟中学校が準優勝しました。



▲製作したロボットを見守る仁賀保高校生

受け継がれた地域の伝統芸能 黒川神楽 7年ぶりに復活

江戸末期から黒川地区で代々受け継がれてきた伝統芸能「黒川神楽」が7月11日に行われました。コロナ禍や少子化の影響により中止が続いていましたが、再開を望む住民の声をきっかけに7年ぶりに復活。地区内および地区に縁のある子ども達6人と囃子手達が地区内を回り、元気いっぱい神楽を披露。各家々で歓声が上がりました。



▲神楽を披露する子どもたち

イチジク栽培のイロハについて学ぶ いちじく小学校 1時間目

6月21日、大竹の圃場でいちじく小学校と専門学校が開校されました。小学校では、害虫対策と不要な新梢を間引く作業について学びました。今回初の試みとなった専門学校では、圃場に定植の作業を実施しました。8月29日(土)には調理実習を開催するので、ご興味のある方は農林水産課（☎38-4303）までお問合せください。



▲不要な新梢を間引く作業を体験する参加者

熱中症被害防止のため 日本郵便株式会社との「指定暑熱避難施設に係る協定」締結式

6月30日、象潟庁舎で本市と日本郵便株式会社との「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）に係る協定」締結式が行われました。この協定は市内7つの郵便局を一時的に暑さをしのぐため滞在できる「クーリングシェルター」として開放するもので、熱中症による市民の健康被害の防止と安全・安心の確保が期待されます。



▲協定書を持つ本荘郵便局遠藤局長(左)と市川市長

地域の期待を力に、TDKナインが激闘 第97回都市対抗野球2次予選東北大会

6月18日から28日にかけて、福島県で開催された第97回都市対抗野球2次予選東北大会に、にかほ市代表のTDK硬式野球部が出場しました。初戦のマルハン北日本カンパニーとの試合で敗れたTDKナインは2次代表トーナメントへ。見事2戦を勝ち進みました。3戦目で七十七銀行と1点を争う激闘を繰り広げ、あと一歩及ばず惜敗となりました。



▲初戦で先制タイムリーヒットを打つ青木選手

国重要無形民俗文化財指定記念 鳥海山伝承芸能祭

6月21日、仁賀保勤労青少年ホームで第14回鳥海山伝承芸能祭が行われました。同芸能祭は、例年9月に行っていますが、今年3月に「鳥海山北麓獅子舞番楽」が国重要無形民俗文化財に指定されたことを記念し、今回は前倒して開催。指定されたにかほ市、由利本荘市の8番楽が全て出演し、迫力ある舞を披露しました。



▲横岡番楽保存会による「団七」の一コマ